



分類	微生物名 (読み)	Acineta (アキネタ)	撮影日	1997/9/17
	類	繊毛虫	処理場名	大曲 処理センター
	目	吸管虫	大きさ	0.075mm (柄を除く)
科	アキネタ			

撮影者コメント
 吸管虫の中では最もよく観察される虫です。特徴は文字通り吸管にあり、自身に近づいた他の虫を吸管で捕らえて体液を吸収します。



分類	微生物名 (読み)	Arcella (アルケラ)	撮影日	1997/9/12
	類	肉質虫	処理場名	大曲 処理センター
	目	アルケラ	大きさ	0.06mm
科	アルケラ			

撮影者コメント
 殻を持ったアメーバで、殻から出した仮足で移動し、細菌類を捕食する。老化すると写真のように濃褐色になる。これらアメーバ類が優先種になると処理水質の透明度が悪化する傾向にある。

* 和名: ナベカムリ



分類	微生物名 (読み)	Aspidisca (アスピディスカ)	撮影日	1997/9/16
	類	繊毛虫	処理場名	大曲 処理センター
	目	下毛	大きさ	0.04mm
科	アスピディスカ			

撮影者コメント
 汚泥塊の周囲を忙しく動く。卵形で背面が3条・6条のノコギリ状の種と、平滑な種の3種があり、体の前後に棘状の毛を有しています。「処理が良好」の時に良く観察されます。

* 和名: メンガタミズケムシ



分類	微生物名 (読み)	Chaetontus (カエトノツス)	撮影日	1997/9/16
	類	袋形動物腹毛	処理場名	大曲 処理センター
	目	毛遊	大きさ	0.11mm
科	イタチムシ			

撮影者コメント
 体全体が毛で覆われており、汚泥塊の間を滑るように遊泳し、動きはとても速い虫です。希に観察されます。

* 和名: イタチムシ



微生物名 (読み)	Clepus	撮影日	1998/8/5	
	(コレプス)		処理場名	横手 処理センター
分類	類	大きさ	0.05mm	
	目			原口
	科			コレプス

撮影者コメント
 汚泥塊の間を自転しながら滑るように素早く動きます。体全体が毛で覆われ、体の縦方向には縞模様があります。通年観察され、個体数の多い虫です。

* 和名: タルガタゾウリムシ



微生物名 (読み)	Epistylis	撮影日	1996/7/1	
	(エピスティリス)		処理場名	横手 処理センター
分類	類	大きさ	0.06~0.14mm (柄を除く)	
	目			縁毛
	科			エピスティリス

撮影者コメント
 観察頻度の高い釣鐘形の虫です。群体をなし、多いもので約100個体の群体をなしています。柄にはミオネーム(糸筋体)がなく、柄からの収縮運動はしません。「処理が良好」の時に良く観察されます。



微生物名 (読み)	Lepadella	撮影日	1997/9/12	
	(レパデラ)		処理場名	大曲 処理センター
分類	類	大きさ	0.18mm	
	目			遊泳
	科			ハオリワムシ

撮影者コメント
 多量の雨が混入し、ばっき槽が安定しない時期に優先種となった虫。楕円形であり、背部と腹部の甲羅で覆われています。肢の先端に2本の趾があります(2本に分かれています)

* 和名: ウサギワムシ



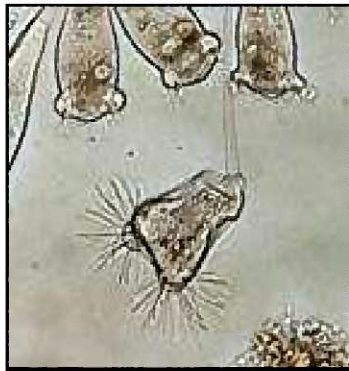
微生物名 (読み)	Macrobiotus	撮影日	1997/5/1	
	(マクロビオツス)		処理場名	大曲 処理センター
分類	類	大きさ	0.54mm	
	目			真緩歩
	科			チョウメイムシ

撮影者コメント
 4対の歩脚に鉤爪があり、汚泥塊をのそのそと歩きます。和名にあるように歩く姿は熊に似ています。本来、土壤中に生活する生物で、

* 和名: クマムシ



分類	微生物名 (読み)	Podophrya (ポドフィリア)	撮影日	1996/7/19
	類	繊毛虫	処理場名	大曲 処理センター
	目	吸管虫	大きさ	0.05mm (柄を除く)
科	ポドフィリア			
撮影者コメント				
ごく希に観察されます。吸管虫の特徴はその吸管にあり、自分に近づいた他の虫を、吸管で捕らえて体液を吸収します。				



分類	微生物名 (読み)	Tokophrya (トコフィリア)	撮影日	1996/7/1
	類	繊毛虫	処理場名	大曲 処理センター
	目	吸管虫	大きさ	0.80mm (柄を除く)
科	アキネタ			
撮影者コメント				
ポドフィリアに比べ、しばしば観察されます。エピスティリスの群生に混じって観察されることが多いようです。				



分類	微生物名 (読み)	Vorticella (ボルティケラ)	撮影日	1997/5/1
	類	繊毛虫	処理場名	大曲 処理センター
	目	吸管虫	大きさ	0.06mm (柄を除く)
科	ボルティケラ			
撮影者コメント				
「水処理が良い状態」で、通常観察されます。常に単体で汚泥塊に固着しています。これら繊毛虫目は頂部に繊毛を有する開口部があり、繊毛を動かし、水流を起こして細菌類を捕食します。柄部分にはミオネームがあり、収縮運動をします。				

* 和名: ツリガネムシ



分類	微生物名 (読み)	Zoothamnium (ゾータムニウム)	撮影日	1998/8/5
	類	繊毛虫	処理場名	横手 処理センター
	目	吸管虫	大きさ	0.07mm (柄を除く)
科	ボルティケラ			
撮影者コメント				
ツリガネムシの中では観察頻度が低いです。群体をなしており、柄にあるミオネームが連結し、群体全体が収縮します。処理水質が極めて良好な時に観察されます。				

* 和名: タチキガタツリガネムシ